③ 伊豆の最南端を歩く 長津呂歩道（一般向・家族向）

歩程 約1時間20分

長津呂歩道は、伊豆半島最南端の地である石廊崎から、ユウスゲが咲く奥石廊崎の池の原を抜け、スノーケリングが人気の中木へ向かうコース。一部車道を併用している箇所があるので、車両には十分注意して歩こう。

▲石廊崎

石廊崎には、現在も沖行く船舶の安全を見守り続けている石廊埼灯台や、伊豆七不思議の一つにもなっている石室神社、縁結びの神様として有名な熊野神社、南伊豆のジオサイトを紹介する南伊豆ビジターセンターが入っている石廊崎オーシャンパークなど、ここでしか見ることが出来ない絶景スポットや施設があり、遊覧船からは険しく美しい地形を堪能できる。

時間があれば起終点付近にある石廊崎岬めぐり遊覧船にも乗っていこう。伊豆半島最南端の石廊崎の断崖絶壁や岩礁、石廊埼灯台の景観を海から眺める遊覧船で、30分毎に運行されている。大根島や奥石廊崎など、船でしか味わえない豪快かつ神秘的な海の景色が堪能できる約25分の船旅である。

石廊崎港からやや急な坂道を上っていくと、平成31年4月に開園した石廊崎オーシャンパークに到着する。敷地内の休憩棟内では、お土産物の販売や、食事処の営業が行われている。ソフトクリームや飲み物等の軽食だけではなく、南伊豆町ならではの地元の食材を使ったラーメンや定食等のメニューもある。施設内には南伊豆ビジターセンターがあり、伊豆半島のことを知り尽くしたジオガイドから、南伊豆町の成り立ちや地域に伝わる歴史文化のことまで、分かりやすい解説を聞くことが出来る。また、施設内にはバス停や駐車場もある。駐車料金は、普通車500円、オートバイ200円、大型バス1500円。

石廊崎オーシャンパーク
☎0558・65・1600

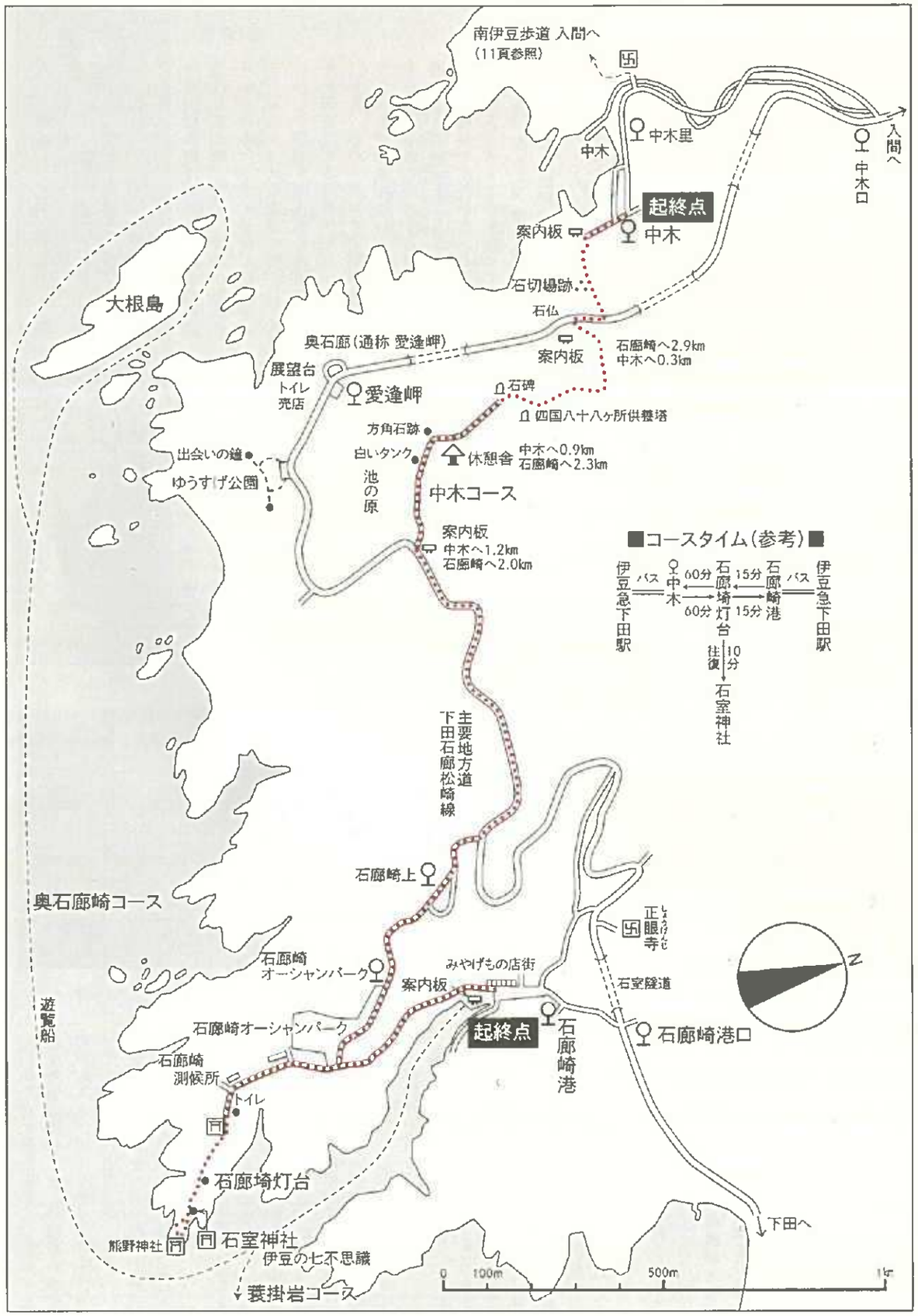
▲石廊崎オーシャンパーク

鳥居をくぐり坂を上り切ると石廊埼灯台へ。さらに進むと伊豆半島最南端石室神社がある。今から1300年以上前に建てられ、現在の社殿は明治34年（1901年）に再建された歴史のある神社である。海上安全や商売繁盛、学業成就の神が祀られている。神社の床下にある伊豆の七不思議の一つ、千石船の帆柱を見ていきたい。さらに先端には熊野神社もある。

戻って石廊崎オーシャンパークの駐車場を抜けて、広い県道・下田石廊松崎線を行く。案内板を右へ折れカヤトの草原を行く。春にはワラビやアシタバ、ツワブキなどの山菜がたくさん顔を出す。秋には一面ススキやワレモコウが揺れ雄大な景色が楽しめる。

展望の良い休憩舎で一休み。沖行く船や奥石廊崎の海岸線が絵のように見える。休憩舎を過ぎると、帆船航海のための海上気象予報の道具であり方位を示した方角石跡の看板あり。中木は、付近の妻良・子浦とともに風待港として文化・文政の頃に最も栄えたと言われている。方角石は現在、南伊豆郷土館に展示されているためその場で見ることは出来ない。その先には、雑木や山桜、椿の茂った中に四国八十八ヶ所供養塔が所々に見られる。

三体の石仏を通り過ぎ、小さな峠を下ると再び県道へ出る。県道を少し歩いて中木へ続く道を下る。途中石切場跡を見て、やがて中木へ到着。

中木では、マグマが冷え固まる際の収縮によってできた柱状節理の迫力ある景色を楽しむことが出来る。

▲中木柱状節理